



(写真)開幕戦のポールシッター。左から長島哲太(J-GP3クラス)、高橋巧(JSB1000クラス)、関口太郎(J-GP2クラス)、井筒仁康(ST600クラス)。指で表す数字の意味は?

JSB 1000 QUALIFYING PRACTICE REPORT & INTERVIEW

V2チャンプ秋吉耕佑がまさかの離脱! 絶好調の高橋巧がポールポジションを獲得!! 高橋包囲網を敷く加賀山、中須賀、柳川

2012年シーズンが栃木県・ツインリンクもてぎで開幕した。未曾有の大震災から約1年。例年通りに開幕できる喜びを感じつつ、木曜日の特別スポーツ走行からレースウィークは始まった。ツインリンクもてぎは、東日本大震災の影響を受け、昨年、路面を約7割張り替えていたが、旧路面との差をなくすために今年に入ってから5コーナー、V字コーナーなどの路面も新しくしている。事前テストでは、ライダーからの評判もよく、各クラスでコースレコードが更新されることが期待された。

JSB1000クラスは、レースウィーク初日から波乱が起きてしまう。何とセッション開始直後にV2チャンピオンの秋吉耕佑が2コーナーでハイサイド転倒。左足の大腿骨と頸骨を骨折してしまうアクシデントが発生する。秋吉は、すぐにヘリコプターで病院に搬送され、東京都内の病院に転院し、ボルトを入れる手術を受けた。可能であれば第3戦筑波での復帰を目指すという。しかし、2戦の欠場は確実となり、3年連続チャンピオンの可能性は限りなく少なくなってしまった。

優勝候補の最右翼である秋吉がいなくなったコース上では、高橋巧が好タイムをマークしていた。事前テストから好調な高橋は、コーナーの進入でも絶妙なスライドコントロールを見せ、まさに“ノレている”状

態。自信のライディングを見せていたが、「路面がよくなっているのに2年前のコースレコードを破れないですからね。マシンは、ある程度まとまっていますが、もっとレベルを上げていきたいですね」と、まだまだ満足はできないと語っていた。それでも金曜日は、ただ一人、1分49秒台をマークしトップタイムを記録、予選でのコースレコードプレイクを狙っていた。

土曜日の公式予選は、予報通りの天候となった。朝方から強風に見舞われ、午前中に行われたJ-GP3、ST600、J-GP2の3クラスは、ドライコンディションとなったが、ちょうどJSB1000クラスのセッションが始まるころから雨が降り始め、路面はウェットとなっていく。

今シーズンもJSB1000クラスの公式予選は、ノックアウト方式で行われた第1セッションでは、ある程度のタイムが出た後は、リスクを避けピットに戻って様子を見るライダーがほとんどだった。この第1セッションでトップタイムをマークしたのは中須賀克行。中須賀は、今シーズンよりタイヤをブリヂストンにスイッチ。ブリヂストンのウェットタイヤで走るの、ほぼ初めてという状態だったが、うまくタイムを出してきた。2番手につけた加賀山就臣もダンロップにスイッチしており、タイヤを変更した二人が1-2を

占めていた。この第1セッションは、雨が弱くレインタイヤでは中途半端な状況だったが、第2セッションが始まるころに雨足は強くなっていく。ここで真っ先にコースインしたのが高橋だった。中須賀、柳川明とリーダーボードのトップが入れかわるが、高橋が4周目のタイムアタックで2人を上回り、第2セッションをトップで終了。その後、風雨共に強くなってしまい、第3セッションは中止された。このため、第2セッションまでの順位でグリッドは決定。高橋が、開幕戦のポールポジションを獲得する結果となった。

「予選は、できればドライで走りたいかったですね。決勝は、ドライになると思うので、いい走りを見せたいです」と高橋。

2番手に加賀山、3番手に中須賀、4番手に柳川明、5番手に芹沢太麻樹と続き、清水郁己が6番手と健闘した。7番手にJSB1000クラスに3年振りに復帰する山口辰也がつけ、東村伊佐三、藤田拓哉、山中正之、須貝義行、澤村元章と続いた。

ドライコンディションとなれば、好調の高橋を中心にレースが進んでいきそうだが、加賀山、中須賀、柳川など経験値の高いライダーが高橋のペースにどう食らいついていくか注目したいところだ。秋吉不在のJSB1000クラス、開幕戦を制するのは、誰になるのか!?



高橋巧



高橋巧(ポールポジションインタビュー)



加賀山就臣

中須賀克行



ISB 1000 ポールポジション：#634 高橋 巧 2分03秒064

事前テストは初乗りから調子がよくて、タイムも自己ベストを簡単に超えられる感じでした。セッティングも順調に進み、今年はちょっと違う、というところを見せなきゃいけないと思い、テストでは一発のタイムとレースに向けてのアレージを意識して走っていました。どちらも、うまく進んでいた、予選は雨が降らなければ勝負できると考えていました。雨の走行は昨年最終戦以来なので、

感覚を取り戻すためにQ1、Q2とも一番最初にコースに出て行きました。ここまですぐ大雨が降ると思っていたなかったので早めにタイムを出して、様子をみようと思っていたら運よくQ3が中止になりポールポジションが決まったので、あまり実感がありません。決勝は前に出て逃げ切りたいけれど、アレージは悪くないので勝負になっても最終的にトップでゴールできる様にしたいですね。

ST 600 ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP QUALIFYING PRACTICE REPORT & INTERVIEW

井筒仁康が久々のポールポジション!! 「決勝も分からないので気が抜けないね」



ST600クラスは、渡辺一馬がセッション序盤に1分55秒544でトップに立つ。金曜日のART走行で日本人ライダーのトップタイムの大崎誠もタイムを徐々に上げ、渡辺と同じ55秒544で2番手につける。國川浩道、横江竜司と55秒台で続く。

しかし、残り5分を切った頃、セクションタイムでベストを更新してきたのが井筒仁康だった。井筒は55秒431をマークし、一気にトップに躍り出たのだ。その後このタイムを上回るライダーは現れず、井筒が2004年の最終戦以来、久々にポールポジションを獲得した。2番手以下、渡辺、大崎、デチャ、横江、國川、佐藤、小林、中富と続いた。



ポールポジション：#77 井筒仁康 1分55秒431

風が強かったので走りながら風が弱まるのを待っていた。ちょうどいいタイミングでアタックに入ったら、ちょっとタイムが出たというだけで、金曜日は1分54秒台に入っている選手もいるし、条件がうまくかみ合っただけ。ポールポジションをチームやスポンサーさんにプレゼントできたので、今年はきっちり完走して結果を残したいと思います。事前テストではタイヤと路面温度のマッチングが合わなくて順調に進められなかったし、木曜日の走行も参加できなかったけれど、メカニックと話し合って予選はセッティングを大きく振ってみたら、まずまずの感触で、なんとか帳尻を合わせた、というところなんです。ポールポジションを獲得したけれど決勝は走ってみたいとわからないので、まだまだ気を抜かないでいきます。

J-GP2
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP**QUALIFYING PRACTICE**
REPORT & INTERVIEW

関口太郎がクラス初ポールをゲット!! 「スタートから逃げるのが理想だが…」



J-GP2クラスは、渡辺一樹が序盤から1分54秒862をマークしてトップをキープしていた。昨年同クラス王者の中上貴晶の後を襲った浦本修充、関口太郎(写真)、岩田悟らが55秒台で続く。中盤に入ると今季全勝を狙う浦本が54秒812でトップを奪取。野左根航太が55秒371をマークして4番手に浮上。

すると関口も終盤にかけてタイムアタック。セクションタイムを更新しながら周回、そして54秒736をマークしてポールポジションを獲得した。2番手は浦本、続いて渡辺、野左根、岩田が序盤にマークした55秒819のタイムで5番手となった。



ポールポジション: #2 関口太郎 1分54秒736

まさかポールポジションを獲得とは思わなかったですね。全日本に復帰したときにウエットで獲った以来、ドライだとヨーロッパ選手権を走っていた2003年以来のポールポジションですね。まだ(昨年の最終戦で痛めた)肩の状態が完全ではないので、左コーナーが厳しい状態です。ただ、今年は去年とパッケージが変わったので、マシンがいい状態になってきています。まだまだセッティングを詰められますし、肩の状態もよくなるはず。レースはスタートから前に出て逃げるのが理想ですけど、みんなも速いので、そう甘くはないと思います。今回は肩の状態が完璧ではないので無理せず、確実にチェックフラッグを受けたいと思っています。

J-GP3
ALL JAPAN ROAD RACE CHAMPIONSHIP**QUALIFYING PRACTICE**
REPORT & INTERVIEW

長島哲太がクラス初ポールポジション!! 「決勝では逃げるレースがしたい」



曇り空で激しい風が吹く中で始まったJ-GP3の予選セッション。序盤は山本剛大がトップ、賞典外参加の藤井謙汰が2番手に付け、両者がまず2分02秒台をマーク。ルーキーの國峰琢磨、長島哲太、森俊也らが続く。中盤以降にはタイムアップするライダーが現れる中、長島が02秒台に入れて3番手に浮上すると、さらにタイムを削り、最終のアタックで2分01秒763のタイムをマークし、クラス初のポールポジションを獲得した。藤井も02秒253で2位に付け、山本が序盤にマークした02秒322で3番手に付けている。4位には徳留真紀、SRS-J(鈴鹿レーシングスクール)出身のルーキー佐野優人が5番手で続いた。



ポールポジション: #45 長島哲太 2分01秒763

ヘアピンの立ち上がりでハイサイドしかけてふられたときは(右足の付け根のケガが)かなり痛かったですね。風が強くなるのはわかってたし、マシンの特性上、一発でタイムを出すのが難しいとわかっていたので(タイムアタックの)タイミングをつかみたかった。どこでスリップストリームを使おうかと考えていたけれど逆に後ろにつかれてしまったので、あきらめて一人でアタックしました。もう少しアタックができたはずだし、コースレコードを出すことが目標だったのでタイムが出せず悔しいです。マシンのセッティングは、いいところまで詰まってきたので、あとは自分の乗り方をマシンに合わせていくだけです。決勝では、とにかく逃げるレースがしたいですし、コースレコードを目指して2分0秒台には入れたいですね。



●予選:天候/雨 路面/ウェット 出走24台
●決勝スタート/14:40(18周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	634	高橋 巧	MuSASHi RT ハルクプロ	CBR1000RR	2'03.064
2	71	加賀山 就臣	Team KAGAYAMA	GSX-R1000	2'03.164
3	21	中須賀 克行	ヤマハYSPLレーシングチーム	YZF-R1	2'03.530
4	87	柳川 明	TEAM GREEN	ZX-10R	2'03.542
5	1	芹沢 太樹	エヴァRT初号機トリックスターFRTR	ZX-10R	2'03.917
6	11	清水 郁巳	ホンダドリームRT高崎 B'WISE RT	CBR1000RR	2'05.568
7	104	山口 辰也	TOHORacingwithMORIWAKI	CBR1000RR	2'06.191
8	7	東村 伊佐三	RS-ITOH&ASIA	ZX-10R	2'07.500
9	33	藤田 拓哉	DOG FIGHT RACING-YAMAHA	YZF-R1	2'08.267
10	85	山中 正之	HondaQCT明和レーシング	CBR1000RR	2'08.730
11	8	須貝 義行	チームスガイレレーシングジャパン	1098R	2'09.360
12	22	澤村 元章	磐田レーシングファミリー	YZF-R1	2'10.389
13	32	今野 由寛	MotoMap SUPPLY	GSX-R1000 L2	2'11.122
14	69	宮崎 圭央	FAST R-T	CBR1000RR	2'11.214
15	28	奈須 勉	奈須鉄金・オートサービスTAMAGAWA	CBR1000RR	2'11.435
16	50	長田 政樹	SRTレーシング	GSX-R1000	2'11.536
17	15	久保山 正朗	Honda浜友会浜松エスカルゴ	CBR1000RR	2'11.685
18	19	片平 亮輔	8810RwithMCR	CBR1000RR	2'12.425
19	18	中村 知雅	チーム トモマサ	CBR1000RR	2'14.311
20	43	菊地 敦	TEAM・WILD☆HEART	CBR1000RR	2'15.835
21	35	原田 洋孝	RSガレージハラダ姫路	NINJA ZX-10R	2'18.109
22	55	須磨 貞仁	CONFIA HMF	GSX-R1000L2	2'20.418
23	49	佐藤 宏司	フレッシュタウン歯科クリニック	GSX-R1000	出走せず

以上 第2セッションにて決定:

以上予選通過車両:

24	83	喜多田 学	(有)成田総合サービス+TS関東	CBR1000RR	2'19.866
13	戸田 隆	ファーストスター+GTRIBE	S1000RR	出走せず	

参加台数 25 台 / 出走台数 24 台

予選通過基準タイム (総合 110 %) 2'17.171

※コースコンディションの悪化により第3セッションを中止。

大会公式通知No.2により第2セッションまでの結果をもって予選順位を決定した。



●予選:天候/曇 路面/ドライ 出走35台
●決勝スタート/11:25(18周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	77	井筒 仁康	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	1'55.431
2	3	渡辺 一馬	KoharaRacing	CBR600RR	1'55.544
3	75	大崎 誠之	伊藤RACING・GMPスズカ	YZF-R6	1'55.544
4	30	DECHA KRAISART	YamahaThailandRacingTeam	YZF-R6	1'55.651
5	62	横江 竜司	RT 森のくまさん佐藤塾	YZF R-6	1'55.797
6	16	國川 浩道	HiRaNo・HouYou	CBR600RR	1'55.819
7	6	佐藤 裕児	HITMAN RC甲子園ヤマハ	YZF-R6	1'55.835
8	634	小林 龍太	MuSASHi RT ハルクプロ	CBR600RR	1'56.158
9	43	中富 伸一	HITMAN RC甲子園ヤマハ	YZF-R6	1'56.163
10	65	CHALERMPOL POLAMAI	YamahaThailandRacingTeam	YZF-R6	1'56.232
11	52	Zamri Baba	PETRONAS-YAMAHA-Malaysia/41PLAN	YZF-R6	1'56.243
12	19	伊藤 勇樹	DOG FIGHT RACING-YAMAHA	YZF-R6	1'56.541
13	17	福垣 誠	アケノスピード・MIC	YZF-R6	1'56.670
14	9	岩 哲朗	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	1'56.770
15	12	岡村 光矩	RSGLレーシング&ドリーム北九州	CBR600RR	1'56.863
16	15	津田 拓也	WestPower	GSX-R600	1'56.870
17	23	手島 雄介	CLUB PLUS ONE	CBR600RR	1'56.996
18	20	中山 真太郎	TEAMしんたろうwithKRT	CBR600RR	1'57.524
19	26	篠崎 佐助	SP忠男レーシングチーム	YZF-R6	1'57.621
20	67	医王田 章弘	RS-ITOH	ZX-6R	1'57.696
21	28	藤島 翔太	4Sure ホンダドリーム名古屋西	CBR600RR	1'57.794
22	37	近藤 湧也	GBSLレーシング	YZF-R6	1'57.800
23	32	深津 拓真	チームスガイレレーシングジャパン	CBR600RR	1'57.808
24	25	清水 直樹	Express Houyou	YZF-R6	1'58.059
25	46	小田 茂男	エポリューションスピリット&ジャズファクトリー	GSX-R600	1'58.106
26	57	中村 豊	アクロレーシング+モトバム	CBR600RR	1'58.450
27	53	中津原 尚宏	研友会栃木PGLレーシング	CBR600RR	1'58.542
28	54	長嶋 修一	石井りんご園モトアルファ	CBR600RR	1'58.698
29	64	矢田 栄一朗	T.T.MOTO	YZF-R6	1'58.755
30	44	松川 泰宏	MOTO BUM HONDA	CBR600RR	1'58.767
31	56	阿久津 晃輝	DOG FIGHT RACING-YAMAHA	YZF-R6	1'58.775
32	55	長谷川 直樹	CONFIA-HMF&AS小笠原	GSX-R600L1	1'59.720
33	47	鈴木 力	CLUB HARC-PRO.	CBR600RR	2'00.359
34	58	小原 岳	MCRガレージオレンジワークス	CBR600RR	2'01.770
35	72	中山 友寛	MCRガレージオレンジワークス	CBR600RR	2'03.126
50	小島 一浩	TSRレーシングスクール	CBR600RR	出走せず	
51	飯島 高広	DOG FIGHT RACING-YAMAHA	YZF-R6	出走せず	
59	熊谷 陽	PRIMEnc★LINK	YZF-R6	出走せず	

以上予選通過車両:

予選参加台数 35 台 出走台数 35 台

予選通過基準タイム (110 %) 2'06.974



●予選:天候/曇 路面/ドライ 出走45台
●決勝スタート/10:15(15周)

Pos	No.	Cls.	Name	Team	Machine	BestTime
1	45		長島 哲太	Projectu7C HARC	NSF250R	2'01.763
*	1		藤井 謙汰	F.C.C.TSR-CIP Honda	TSR3	2'02.253
2	4		Team NOBBY	NSF250R	2'02.322	
3	634		徳留 真紀	MuSASHi RTハルクプロ	NSF250	2'03.082
4	31	Y	佐野 俊人	SRS-JwithMORIWAKI	MD250GP3	2'03.179
5	55	Y	國峰 琢磨	JARIRacing+ENDURANCE	NSF250R	2'03.190
6	21	Y	瀧美 心	レーシングチームハニービー	NSF250R	2'03.796
7	9		森 俊也	Team NOBBY	NSF250R	2'04.000
8	41		小室 旭	41PLN・Global.communication.loda	JR002	2'04.030
9	19		大塚 卓也	HondaブルーヘルメットMSC	NSF250R	2'04.107
10	20		松井 洪弥	TEAM PLUS ONE	NSF250R	2'04.161
11	5	Y	山田 誓己	TEAM PLUSONE+ENDURANCE	NSF250R	2'04.212
12	13		岡田 義治	T.ヨシハルASPIRATION	NSF250R	2'04.233
13	3		仲城 英幸	Projectu7C HARC	NSF250R	2'04.260
14	70		葛西 雅迪	タニシ&Speed Heart YERC	NSF250R	2'04.263
15	75		古市 右京	ASPIRATION A-next	NSF250R	2'04.359
16	22		高杉 奈緒子	モトバムwithヒボガタマ	NSF250R	2'04.503
17	50	Y	長尾 健吾	ウイダー チームアイファクトリー	NSF250R	2'04.568
18	52	Y	鳥羽 達	TEAM TEC2 & TDA	TEC2-12	2'04.593
19	18	Y	北見 剣	ウイダー チームアイファクトリー	NSF250R	2'04.612
20	16	Y	亀井 雄大	18 GARAGE RACING TEAM	NSF250R	2'04.737
21	99	Y	中本 貴也	18 GARAGE RACING TEAM	NSF250R	2'04.929
22	14		大西 隼	Projectu7C HARC	NSF250R	2'05.021
23	93		谷川 壮洋	CLUB PLUS ONE	NSF250R	2'05.422
24	72	Y	三好 菜摘	オールスターモータースポーツ	NSF250R	2'05.482
25	81	Y	高橋 真	レーシングチームハニービー	NSF250R	2'05.717
26	56	Y	前田 恵助	ウイダー チームアイファクトリー	NSF250R	2'05.744
27	26		矢作 雄馬	BIR. Racing	NSF250R	2'05.753
28	77		山本 恭裕	広島カジャ Racing&LRC	NSF250R	2'05.928
29	48	Y	大塚 和人	チーム KOHSAKA+M-KID'S	NSF250R	2'06.052
30	66	Y	濫田 晨央	ウイダー チームアイファクトリー	NSF250R	2'06.124
31	88		岡崎 静夏	KoharaRacing	NSF250R	2'06.374
32	47		安村 武志	犬の乳酸菌JP / プリミティブRT	NSF250R	2'06.492
33	71		中臺 翔太	テルル&イー・モバール★KoharaRT	NSF250R	2'06.615
34	43		畑中 要	FTR・タイヤナビ・(株)遠藤住宅	NSF250R	2'07.172
35	73	Y	岡部 圭佑	CLUB PLUS ONE	NSF250R	2'07.397
36	33		川瀬 啓一郎	チーム KOHSAKA	NSF250R	2'07.735
37	51		鈴木 正雄	TEAM X-LAND	NSF250R	2'07.863
38	44	Y	林 祥由	TEAM YERC ドリームキッズ	NSF250R	2'07.865
39	38		小川 亨	MUSASHI 小川サービス	NSF250R	2'08.151
40	34		佐藤 正之	BIR. Racing	NSF250R	2'08.864

以上予選通過車両:

41	46	Y	伊達 悠太	犬の乳酸菌 / PRCS&パトルF	NSF250R	2'08.875
42	12	Y	数田 杏速	team hirock & HARC-PRO	NSF250R	2'09.218
43	29		石崎 司也	MOTOBUM & たかだ農園	NSF250R	2'10.132
44	60		金子 正一	カネゴン&ねこまたレーシング	WR250F-SZRS	2'32.507

予選参加台数 45 台 / 出走台数 45 台

予選通過基準タイム (110 %) 2'13.939

Y=Youthクラス

※セッティングNo.1は大会公式通知No.2により賞典外とする。



●予選:天候/曇 路面/ドライ 出走16台
●決勝スタート/13:30(18周)

Pos	No.	Name	Team	Machine	BestTime
1	2	関口 太郎	Team TARO PLUS ONE	TSR2	1'54.736
2	634	浦本 修充	MuSASHi RTハルクプロ	CBR600 HP6	1'54.812
3	26	渡辺 一樹	RS-ITOH&ASIA	ZX-6R	1'54.862
4	31	野左 航汰	ウエビックスチームノリツヤマハ	YZW-N6	1'55.371
5	34	岩田 悟	CLUB PLUS ONE	HP6	1'55.819
6	3	生形 秀之	エスパルスドリームレーシング	GSX-MFD6	1'55.912
7	10	野田 弘樹	テルル&イー・モバール★KoharaRT	TSR6	1'56.306
8	51	高橋 英倫	PITCREW&松戸FLASH	ZX6R	1'56.393
9	14	大木 崇行	MOTO BUM HONDA	CBR600RR	1'56.604
10	16	中本 都	リリカAMENA with out Run	YZF-R6	1'56.878
11	46	星野 知也	ミクニBeatテリール&カリ	GSX-R600 L1	1'57.428
12	54	井上 哲悟	PITCREW&松戸FLASH	ZX6R	1'57.802
13	45	山村 良憲	GBSLレーシング	YZF-R6	1'59.200
14	21	佐藤 周	MST★SSモツツカ RT	ZX6 RM	2'00.124
15	19	小口 理	ALLMAN&Owrracing	YZF-R6	2'00.811
16	37	赤間 清	MuSASHi RTハルクプロ	CBR600 HP6	2'02.694
99	岡田 州生	レーシングチームハニービー	CBR600RR	出走せず	

以上予選通過車両:

予選参加台数 17 台 / 出走台数 16 台

予選通過基準タイム (110 %) 2'06.209

INFORMATION



全日本ロード&全日本モトクロス 完全無料放送決定!!

2012年シーズンは全日本ロードレース選手権、そして全日本モトクロス選手権がレース開催8日後に録画映像で放送されることになりました。放送局はBS12 TwellIV(トゥエルビ)で完全無料放送となります。現場ではカパーでできなかったシーンや迫力のバトルをあらためてお楽しみください!!

■放映スケジュール

第1戦ツインリンクもてぎ 4月9日(月) 20:00~20:55

詳しくはファンサイトで→<http://superbike.jp/>

TIME TABLE

※タイムテーブルは、変更されることがあります。

第1戦ツインリンクもてぎ 4月1日(日)

10:00 -	J-GP3 コースイン~選手紹介
10:15 -	J-GP3決勝レース.....15Laps
11:10 -	ST600 コースイン~選手紹介
11:25 -	ST600決勝レース.....18Laps
12:20 -13:00	ピットウォーク(コース上バス・タンデム イベント)
13:15 -	J-GP2 コースイン~選手紹介
13:30 -	J-GP2決勝レース.....18Laps
14:25 -	JSB1000 コースイン~選手紹介
14:40 -	JSB1000決勝レース.....18Laps

※レース終了後~モーターサイクルハルード